

## 安全データシート

改訂日: 2018年9月28日

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
会社名  
住所  
電話番号

グリース・ロミン亜硝酸試薬 (GR亜硝酸試薬)  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
05103

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経皮): 区分3  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分2  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A  
皮膚感受性: 区分1

\* 記載のないものは「分類対象外」, 「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

皮膚に接触すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

【安全対策】

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。

皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

汚染された衣服を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性

## 3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別

化学名

混合物

1-ナフチルアミン

スルファニル酸

L(+)-酒石酸

 $\alpha$ -ナフチルアミン

4-アミノベンゼンスルホン酸

D-酒石酸

化学式

 $C_{10}H_7NH_2$  $H_2NC_6H_4SO_3H$  $C_4H_6O_6$ 

CAS RN

134-32-7

121-57-3

87-69-4

含有量

1%

10%

89%

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

(4)-321

(3)-1971

(2)-1456

GHS分類に寄与する不純物及び安定化合物

該当情報なし。

## 4. 応急措置

吸入した場合

鼻をかみ、うがいをさせる。水でよく口の中を洗浄する。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹼を用いて十分に洗浄する。

痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。

直ちに医師の手当を受ける。

飲込んだ場合

速やかに口をすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

該当情報なし。

応急処置をするものの保護

該当情報なし。

医師に対する特別な注意事項

該当情報なし。

## 5. 火災時の措置

消火剤

噴霧水、粉末、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災時に刺激性もしくは有毒なフェームまたはガスを発生する。

特有の消火方法

出来れば容器を安全な場所に移動する。

不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。

消火を行う者の保護

適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、吸入したり眼、皮膚に触れないようにする。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。

技術的対策(局所排気、全体換気等)

適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉塵の吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

皮膚と接触しないこと。

眼に入れないこと。

接触回避

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源、混触危険物質

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

容器を密閉し、換気のよい涼しい場所で施錠して保管すること。

安全な保管条件

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源や混触危険物質から離して保管する。

容器包装材料

ガラス

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

未設定

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

設備対策

ばく露を防止するため、装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。

## 保護具

呼吸器の保護具  
 手の保護具  
 眼の保護具  
 皮膚及び身体の保護具

防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。  
 ゴム手袋を着用する  
 ゴーグルを着用する。  
 作業衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色等)  
 臭い  
 臭いの閾値  
 pH  
 融点・凝固点  
 沸点、初留点及び沸騰範囲  
 引火点  
 蒸発速度(酢酸ブチル=1)  
 燃焼性(固体、気体)  
 燃焼又は爆発範囲の上限・下限  
 蒸気圧  
 蒸気密度  
 比重(相対密度)  
 溶解度  
 n-オクタノール/水分配係数  
 自然発火温度  
 分解温度  
 粘度(粘性率)

白色の粉末  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし  
 該当情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性  
  
 危険有害反応可能性  
  
 避けるべき条件  
 混触危険物質  
 危険有害な分解生成物

通常取り扱いに於て安定。  
 空気中で徐々に着色する。  
 強熱されると燃焼し、有害な窒素酸化物、硫黄酸化物、炭素酸化物を発生する。  
 高温、多湿、光  
 酸化剤、塩基、還元剤  
 窒素酸化物、硫黄酸化物、炭素酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口：(1-ナフチルアミン)ラットLD<sub>50</sub>値=680mg/kg (IUCLID (2000)、HSDB (Access on Oct 2005))および779mg/kg (IUCLID (2000))に基づき、区分4とした。  
 (スルファニル酸)ラット: LD<sub>50</sub>=12300mg/kg、及び13200mg/kg (Technical grade)により(何れもIUCLID (2000))区分外とした。  
 (L(+)-酒石酸)マウスLD<sub>50</sub>= 4300mg/kg (区分外)

経皮：(1-ナフチルアミン)ラットLD<sub>50</sub>値=447mg/kg (IUCLID (2000)、HSDB (Access on Oct 2005))に基づき、区分3とした。  
 (スルファニル酸)データなし。  
 (L(+)-酒石酸)該当情報なし。

吸入(粉塵)：(1-ナフチルアミン)ラットLC<sub>50</sub>(4時間)値が>0.056mg/Lのデータ(IUCLID (2000)、HSDB (Access on Oct 2005))があるが、このデータからは区分1以外のどの区分に該当するか判断できなかった。  
 (スルファニル酸)データなし。  
 (L(+)-酒石酸)該当情報なし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

(1-ナフチルアミン)HSDB (Access on Oct 2005)、HSFS (2004)およびICSC (J) (2000)にヒトへの短期暴露の影響として皮膚を軽度に刺激する可能性が示唆されているが、症例報告はない。一方、IUCLID (2000)およびHSDB (Access on Oct 2005)にウサギを用いた試験で刺激性が認められなかったとの記述があることから、区分外とした。  
 (スルファニル酸)ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、24時間暴露の結果「slightly irritating」(IUCLID (2000))の記述があり、その他に20時間暴露で「mild rubor」及び「slight rubor」の結果 (IUCLID (2000))の記述があるためJIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分3)とした。  
 (L(+)-酒石酸)皮膚に対して刺激性があり(区分2)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

(1-ナフチルアミン)IUCLID (2000)およびHSDB (Access on Oct 2005)のウサギを用いた試験で軽度な刺激性が認められたとの記述より、区分2Bとした。

(スルファニル酸)ウサギを用いた眼刺激性試験において、滴下後24時間の結果「moderately irritating」との記述があり(IUCLID(2000))、EU分類ではXi:R36(EU-Annex I(access on 11 2008))であるため区分2Aとした。

(L(+)-酒石酸)眼に対して刺激性があり(区分2)

呼吸器感受性又は皮膚感受性

呼吸器: 該当情報なし。

皮膚: (1-ナフチルアミン)IUCLID(2000)にモルモットを用いたMaximization testでsensitizingとの結果が記載されているが、感作された動物の比率が示されていないことから、技術上の指針に従って、分類できないとした。

(スルファニル酸)モルモットを用いたMaximization testにおいて、「sensitizing」との結果が2件(IUCLID(2000))、それに加えモルモットを用いた複数の皮膚感受性試験で陽性の結果が得られている(全てIUCLID(2000))。またEU分類ではR43(EU-Annex I(access on 11 2008))であるため区分1とした。

(L(+)-酒石酸)該当情報なし。

生殖細胞変異原性

(1-ナフチルアミン)体細胞を用いるin vivo変異原性試験であるマウスを用いた小核試験で陰性である(IUCLID(2000))ことから、区分外とした。

(スルファニル酸)in vivo変異原性試験のデータがなく分類できない。なお、Ames試験(in vitro変異原性試験)は陰性を示している(NTP DB(access on 11. 2008), IUCLID(2000))。

(L(+)-酒石酸)該当情報なし。

発がん性

(1-ナフチルアミン)IARC(Access on Oct 2005)で3に分類されていることから、区分外とした。[特記]本物質の発がん性は明らかでないが、本物質の構造異性体であるベータナフチルアミンにはヒトに対して発がん性がある(IARCでグループ1に分類。2005)。従って、本物質の製品にはベータナフチルアミンが不純物として含まれるおそれがあることに注意する必要がある。]

(スルファニル酸)データなし。

(L(+)-酒石酸)該当情報なし。

生殖毒性

該当情報なし。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

(1-ナフチルアミン)PATTY(4th, 1994)にイヌで200mg/kg強制経口投与によりメトヘモグロビンを生成するとの記述があり、ヒトでは、具体的な症例報告等の引用はないが、Priority2の出典(HSDB(Access on Oct 2005)、ICSC(J)(2000)、HSFS(2004)、SITTIG(4th, 2002))にメトヘモグロビン血症を起こすことがあるとの記述から、血液が標的臓器と考えられ、区分2とした。

(スルファニル酸)データなし。

(L(+)-酒石酸)該当情報なし。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

該当情報なし。

吸引性呼吸器有害性

該当情報なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

急性: (1-ナフチルアミン)データ不足のため分類できない。

(スルファニル酸)甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC<sub>50</sub>=85.66 mg/L(IUCLID, 2000)から区分3とした。

(L(+)-酒石酸)該当情報なし。

長期間: (1-ナフチルアミン)データ不足のため分類できない。

(スルファニル酸)急性毒性区分3であり、急速分解性がない(難分解性、BOD:3%(既存点検, 2001))ことから、区分3とした。

(L(+)-酒石酸)該当情報なし。

残留性・分解性

該当情報なし

生体蓄積性

該当情報なし

土壌中の移動性

該当情報なし

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当情報なし
品名(国連輸送名)	該当情報なし
国連分類	該当情報なし
容器等級	該当情報なし
国内規制	
陸上輸送	該当情報なし
海上輸送	該当情報なし
航空輸送	該当情報なし
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
応急措置指針番号	該当しない。
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 ( $\alpha$ -ナフチルアミンを含有する製剤)
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP (製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品 (化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト (厚労省HP) NITE-GHS分類結果 (製品評価技術基盤機構HP) 化学大辞典 (共立出版) 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。